



2026年3月6日

健康こども課

真鶴町チームが「チャレンジ！！オープンガバナンス（COG2025）」  
2年連続ファイナル進出

地域課題解決アイデアコンテスト「チャレンジ！！オープンガバナンス 2025」において、町内の大学生・大学院生と町民らで結成した真鶴町チームが、全 63 件の応募の中から 13 件に選ばれ、ファイナル（最終公開審査）に進出しました。真鶴町チームは、町の課題である「まちに住む！こどもが元気に育ち、若者が地域とつながる暮らし」に対し、農園再生を拠点に多世代が交流する仕組み「オープンナレッジ農園」を提案しています。詳細は下記をご覧ください。

◇真鶴町の課題

町内には高校や大学がなく、就職先も限られてしまうことから、多くの子どもたちが進学や就職を機に町外へ転出し、同世代との関わりや地域とのつながりが希薄になってしまっている現状があります。若者が町に住み続けられるまちづくりが課題となっています。

◇オープンナレッジ農園とは

約 70 年前に開業した「佐野農園」では、柑橘類などを栽培しています。「軽トラックいっぱい積んで 2 千円」といった現実を悲しみ出荷を停止、現在は親族や親しい友人等、自家消費分の収穫が中心となっています。その中で、祖父から農園を託された町内在住大学院生が、家族の協力を得て農園を地域に開放。真鶴チーム（真鶴町民＋真鶴ファン＋フェリス女学院大学の混成チーム）と農園再生プロジェクトを立ち上げました。廃棄果実を活用した商品開発や収穫等の農作業体験、さらには地質調査から真鶴の自然を知るデータ公開等を通じて、知識と体験を共有する“共創の場”として再生を目指します。農園に集まる大人たちやワークショップによって、若者が町内の職業を知る機会をつくることにもつながります。

◇昨年の提案応募

2024 年には、町内の子どもや若者と地域をつなぐ地域通貨アプリ「マナレージ」を提案し、ファイナル進出し金賞受賞。今回で 2 年連続の進出となります。

◇チャレンジ！！オープンガバナンス

東京大学公共政策大学院およびオープンガバナンスネットワーク等が主催し、内閣府・デジタル庁が後援する、全国規模の地域課題解決コンテストです。

COG2025 ファイナル（最終公開審査） 最終選考は、下記日程で開催されます。

参加費は無料、オンライン視聴も可能です。参加申し込みされた方は、公開審査の投票もできますので、真鶴チームへの応援をよろしくお願いいたします。

日時：2026年3月8日（日）

場所：東京大学 武田先端知ビル 武田ホール（ハイブリッド開催）

詳細はこちらから

<https://park.itc.u-tokyo.ac.jp/padit/cog2025/#subject>

真鶴町チームの詳細はこちらから

<https://park.itc.u-tokyo.ac.jp/padit/cog2025/area/kanto.html#manazuru-list>

|                                       |
|---------------------------------------|
| お問い合わせ先                               |
| 健康こども課長 ト部 直也 電話：0465-68-1131 内線 2224 |